

平成25年4月5日

各位

半世紀の時を越え 懐かしさと新鮮さを乗せて神の都を巡る

## 路面電車型バス「<sup>しんと</sup>神都バス」、平成25年夏 運行開始

三重交通株式会社（本社：津市中央 取締役社長：森口明好）では、平成25年に行われる伊勢神宮式年遷宮に合わせて、参拝者の思い出となるべく「懐かしさ」と「新鮮さ」をコンセプトとし、かつて伊勢地区で運行していた路面電車「神都線」をモデルとしたバスを製造しています。

この路面電車型バスの名称を「神都バス」とし、平成25年夏に運行開始する予定ですので、お知らせします。詳細は別紙のとおりです。

### 1. 路面電車型バス名称 「<sup>しんと</sup>神都バス」

明治36年から昭和36年までの間、伊勢神宮の参拝者や伊勢・二見地区の観光客の移動手段として利用され、主に山田駅前（現：伊勢市駅）と内宮前間及び山田駅前と二見間を運行していた路面電車「神都線」をモデルとしたバスを製造して、伊勢神宮参拝の方々に「懐かしさ」と「新鮮さ」を感じていただきたいと考えています。

### 2. 運行開始日 平成25年7月（予定）

### 3. 運行区間 宇治山田駅前～伊勢市駅前～外宮前～内宮前（予定）



路面電車型バス「神都バス」  
外観イメージ

（商標・意匠登録出願中）

〇お問い合わせ先 バス営業部乗合営業課 TEL：059-229-5533 担当：尾崎、竹原



# 別紙

## 路面電車型バス「<sup>しんと</sup>神都バス」の概要

- |           |                             |
|-----------|-----------------------------|
| 1. 名称     | 「神都バス」（しんとバス） ※商標・意匠登録出願中   |
| 2. 運行開始時期 | 平成25年7月（予定）                 |
| 3. 運行予定区間 | 宇治山田駅前～伊勢市駅前～外宮前～内宮前（外宮内宮線） |
| 4. 製造両数   | 1両                          |
| 5. 投資額    | 約7千万円                       |
| 6. 車両概要   |                             |

### <外観イメージ>



#### 【外装関係】

- ・路面電車特有の丸い屋根を再現
- ・集電ポールを再現
- ・二段式窓枠を表現
- ・神都線の特徴であった取り外し式ヘッドライトを再現
- ・外板にはリベットを表現



### <内装イメージ>



#### 【内装関係】

- ・木目調の床板及び内装を表現
  - ・金属パイプ類は真ちゅう調で表現
  - ・室内灯は当時の丸型を再現
  - ・室内モケットは当時の色調を再現
- ※車いす対応

【ベース車：神都線モ541形式543号車】

1938（昭和12）年10月、東邦電力（当時）が大阪鉄工所で製造。神都線に入線した最後の車両をベースとしました。

※三重交通 神都線の概要※

神都線は当社のルーツにあたる企業の1つである宮川電気が1903（明治36）年に山田（本町）～二見間に運行を開始した市内電車です。その後延伸を繰り返し1914（大正3）年に猿田彦神社前～内宮前間が開業、山田駅前（伊勢市駅前）～内宮前・山田駅前～二見間の姿となりました。

以来、参宮電車として多くの参拝客に親しまれ、1940（昭和15）年の紀元二千六百年の祝典前後が最盛期でした。しかしながらニーズの変化やモーターリゼーションの発達により衰微の一途を辿り、1961（昭和36）年、惜しまれつつ廃線となり、バスに置き換えられました。

なお、本年は神都線開業から110年にあたり、来年2014（平成26）年には神都交通が東邦電力より鉄軌道事業を譲り受けてから75周年、三重交通設立から70周年を迎えます。



伊勢市本町付近を走行する神都線電車  
（1960（昭和35）年）

<神都線に関する系統図>

